2022　年度 授業計画(シラバス)

| 学　　科 | 医療総合学科 | | 科 目 区 分 | 専門基礎分野 | 授業の方法 | 講義 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 科 目 名 | 身体のしくみとはたらきⅡ | | 必修/選択の別 | 必修 | 授業時数(単位数) | 30　(1)　時間(単位) |
| 対 象 学 年 | 1年 | | 学期及び曜時限 | 前期 | 教室名 | 406 |
| 担 当 教 員 | 加藤智久 | 実務経験とその関連資格 | 臨床工学技士として病院に勤務 | | | |

《授業科目における学習内容》

人体の構造と機能を有機的に繋ぎ、系統的に各器官の位置関係、形状、内部構造、そして器官の機能、人体における役割を系統的に学ぶ。

《成績評価の方法と基準》

出席および課題提出状況、筆記試験で総合的に評価する。

《使用教材(教科書)及び参考図書》

新　医療秘書医学シリーズ　2　基礎医学

《授業外における学習方法》

解剖生理学ワークブックを用いて予習・復習を行う。

《履修に当たっての留意点》

解剖生理学ワークブックを事前にしておいて下さい。講義範囲はテキストを読んでおいて下さい。講義終了毎に確認テスト又は小レポート提出があります。

| 授業の方法 | | | 内　　容 | 使用教材 | 授業以外での準備学習の具体的な内容 |
|---|---|---|---|---|---|
| 第1回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 解剖生理学で何を学ぶのか明確にすることができる。<br>人体の構造と区分、部位と器官について説明することができる。 | 新　医療秘書医学シリーズ　2<br>基礎医学 | 確認テストまたは小レポート |
| | | 各コマにおける授業予定 | 人体の構造と機能について、解剖学と生理学の歴史と現在、形からみた人体 | | |
| 第2回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 細胞の構造と機能、細胞がつくる組織、動物機能と植物機能の器官について説明することができる | 新　医療秘書医学シリーズ　2<br>基礎医学 | 確認テストまたは小レポート |
| | | 各コマにおける授業予定 | 細胞の構造、細胞を構成する物質とエネルギーの生成、細胞膜の構造と機能、細胞の増殖と染色体、分化した細胞がつくる組織、機能からみた人体 | | |
| 第3回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 骨格、関節、骨格筋について説明できる。 | 新　医療秘書医学シリーズ　2<br>基礎医学 | 確認テストまたは小レポート |
| | | 各コマにおける授業予定 | 骨格とは、骨の連結、骨格筋 | | |
| 第4回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 背部・胸部・腹部の筋について説明できる。 | 新　医療秘書医学シリーズ　2<br>基礎医学 | 確認テストまたは小レポート |
| | | 各コマにおける授業予定 | 体幹の骨格と筋 | | |
| 第5回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 上肢の骨格と筋について説明できる。 | 新　医療秘書医学シリーズ　2<br>基礎医学 | 確認テストまたは小レポート |
| | | 各コマにおける授業予定 | 上肢の骨格と筋 | | |

| 授業の方法 | | | 内　　容 | 使用教材 | 授業以外での準備学習の具体的な内容 |
|---|---|---|---|---|---|
| 第6回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 下肢の骨格と筋について説明できる。 | 新　医療秘書医学シリーズ　2<br>基礎医学 | 確認テストまたは小レポート |
| | | 各コマにおける授業予定 | 下肢の骨格と筋① | | |
| 第7回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 下肢の骨格と筋について説明できる。 | 新　医療秘書医学シリーズ　2<br>基礎医学 | 確認テストまたは小レポート |
| | | 各コマにおける授業予定 | 下肢の骨格と筋② | | |
| 第8回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 頭頸部の骨格と筋について説明できる。 | 新　医療秘書医学シリーズ　2<br>基礎医学 | 確認テストまたは小レポート |
| | | 各コマにおける授業予定 | 頭頸部の骨格と筋② | | |
| 第9回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 体の支持と運動について学び、説明できるようになる。 | 新　医療秘書医学シリーズ　2<br>基礎医学 | 確認テストまたは小レポート |
| | | 各コマにおける授業予定 | 体の支持と運動 | | |
| 第10回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 筋の収縮様式について学び、説明できるようになる。 | 新　医療秘書医学シリーズ　2<br>基礎医学 | 確認テストまたは小レポート |
| | | 各コマにおける授業予定 | 筋の収縮様式 | | |
| 第11回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 情報の受容と処理について学び、説明できるようになる。 | 新　医療秘書医学シリーズ　2<br>基礎医学 | 確認テストまたは小レポート |
| | | 各コマにおける授業予定 | 情報の受容と処理（末梢） | | |
| 第12回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 体温とその調節について学び、説明できるようになる。 | 新　医療秘書医学シリーズ　2<br>基礎医学 | 確認テストまたは小レポート |
| | | 各コマにおける授業予定 | 体温とその調節 | | |
| 第13回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 神経系の構造と機能について説明できる。 | 新　医療秘書医学シリーズ　2<br>基礎医学 | 確認テストまたは小レポート |
| | | 各コマにおける授業予定 | 神経系の構造と機能、脊髄と脳 | | |
| 第14回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 脳の高次機能について説明できる。 | 新　医療秘書医学シリーズ　2<br>基礎医学 | 確認テストまたは小レポート |
| | | 各コマにおける授業予定 | 脳の高次機能 | | |
| 第15回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 運動機能と下行伝道路について説明できる。 | 新　医療秘書医学シリーズ　2<br>基礎医学 | 確認テストまたは小レポート |
| | | 各コマにおける授業予定 | 運動機能と下行伝道路 | | |